



工学研究科長
工学部長

伊藤 彰則

工学系の女性研究者が少ないというのは世界共通の悩みですが、日本では特にその比率が少ないのが現状です。しかし、本学DEI推進宣言などにも見られるように、我々の、そして社会の意識も大きく変わりつつあります。性別だけでなく、さまざまな立場の方々に対して開かれた東北大学にしていいため、ALicEの活動を全面的に支援していきます。



情報科学研究科長

張山 昌論

情報科学研究科では、AI、データサイエンス、量子コンピューティング、ロボティクス、人文・社会科学など、学際的な視点から社会課題の解決を目指して研究を行っています。女性研究者の活躍に象徴される多様性を尊重した取り組みが、新たな発見や革新を生み出す基盤となっています。私たちはALicEの活動を全力でサポートします。



環境科学研究科長

吉岡 敏明

資源・エネルギー・食料・災害・暮らしへの対応など環境問題に対しては様々な角度から取り組みがされています。環境に対する価値も自分の置かれた立場によっては様々であり、答えは決してひとつではなく、みんなが知恵を出し合って相互理解を深めていくことが大切です。環境科学研究科は暮らしやすく明るい未来社会を創ることに取り組むALicEの活動を支援します。



医工学研究科長

西條 芳文

医工学は医学と工学の学際分野と言われていますが、実は多様な人々のニーズとシーズの交差点です。私たちが行っているデザイン思考による医療機器開発では、多様な人々が抱えるニーズとそれに対する共感を重視して課題解決につなげています。多様な視点に基づく開発で、明るく健康な未来を作っていきます。医工学研究科はALicEの活動を支援していきます。



ALicEキャラクター ずんだぬき

青葉山に生息するずんだ(枝豆)色のためき。お口は工学部の「工」、おなかの模様は東北大学のロゴにも使われている「萩」。工学や科学技術に興味津々ため！

※東北大学工学系とは、東北大学大学院工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科、医工学研究科、災害科学国際研究所、未来科学技術共同研究センター、環境保全センター及び国際集積エレクトロニクス研究開発センターと、その関連組織の総称です。

東北大学工学系 女性研究者育成支援推進室

ALicE

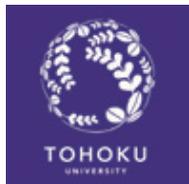


世界で活躍する

女性研究者になる



Association of
Leading Women
Researchers
in Engineering



東北大学工学系女性研究者育成支援推進室

Association of Leading Women Researchers in Engineering, Tohoku University

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6 東北大学工学研究科・工学部

TEL 022-795-5678 MAIL eng_alice@grp.tohoku.ac.jp WEB <https://alice.eng.tohoku.ac.jp/>

ALicEwebサイト





東北大学工学系では

真に豊かな社会の実現のために

多様性を尊重しています

東北大学では、すべての学生および教職員が互いの尊厳を認め、個性を尊重し、相互理解を深めることで、学修・教育・研究・業務に専念できる環境を目指し、「東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進宣言」を掲げています。工学系分野においても、この理念のもと、積極的に取り組みを進めています。

私たち、東北大学工学系女性研究者育成支援推進室(ALicE)は、女子学生を含む多くの女性研究者の育成と活躍を支援するとともに、多様性(Diversity)、公平性(Equity)、そして包摂性(Inclusion)を重視した環境づくりを目指して活動を続けています。2024年に、東北大学は国際卓越研究大学に採択され、グローバルな教育・研究機関としてさらなる発展を目指す重要な節目を迎えています。このような状況下で、私たちの推進室も女性研究者をはじめとする多様な人材の可能性を広げ、共に未来を切り拓く存在でありたいと考えています。

工学分野では現在も女性がマイノリティである状況が続いていますが、研究や教育の場において、多様な視点や価値観が共存することは、新たな知見や技術革新を生み出す原動力になると確信しています。ALicEは、より多くの女子学生や女性研究者が工学系分野で活躍できるよう、引き続き全力でサポートしてまいります。さらなる挑戦と努力を通じて、多様性と創造性が輝く社会の実現に向けて邁進してまいります。



ALicE 室長

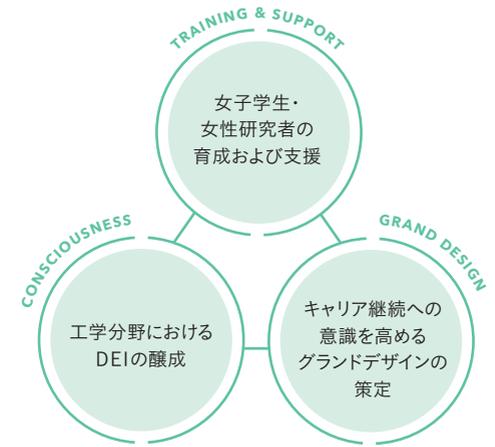
田中 真美

医工学研究科/工学研究科 教授

活動目的 Purpose

工学分野の女性の活躍を応援

工学分野において女性が安心してキャリアを継続できる社会の実現を目指して活動しています。工学系女性の育成支援、DEIの醸成、キャリア継続への意識の向上に取り組んでいます。



活動実績 Activities



平成28年度女性のチャレンジ支援賞(内閣府)を受賞

学内にとどまらない工学系女性研究者の研究環境整備として評価されました。



女性のチャレンジ賞

女性のチャレンジ支援賞

各種活動にチャレンジして輝いている女性や、それを支援する団体・グループを顕彰することでチャレンジの身近なモデルを示し、男女共同参画社会の実現のための機運を高めることを目的として、内閣府男女共同参画局が実施している表彰です。



女性研究者の見える化・工学魅力の発信



科学体験プログラム

科学の知識を深め身近に感じてもらえるよう、次世代に向けて科学体験プログラムを開催しています。また、女子中高生向けに、研究室を訪問してさまざまな分野の研究を実際に見て触って体験することができる研究室見学会も開催しています。



女子中高生のためのミニフォーラム

オープンキャンパスにて女性教員と企業で活躍する卒業生の講演、女子学生のキャンパスライフ紹介を行うミニフォーラムを開催しています。終了後に懇談会も設けております。奮ってご参加ください。

参加者の声

- ◆ ネットで調べただけでは分からない、実際の学生の声を聞いて、よりこの学部に行きたいという気持ちが強くなりました。(埼玉県 高校生)
- ◆ 普段あまり関わることのない職業の方の話を聞いて、良い経験になりました。懇談会では、ほぼ一対一で話が聞いて良かったです。(福井県 高校生)



女性研究者や育見期の研究者の紹介

工学の魅力を広く知っていただけるよう、女子高等学校を中心に出張講義(オンライン可)を行っています。また、ニュースレター、ホームページ、SNSにおいて工学系女性研究者の紹介もしています。

研究と育児・介護との両立支援



託児室・静養室

工学系に所属する教職員と学生が、研究・教育・就学のために必要な一時保育スペース(託児室)と、体調不良や搾乳の際に利用可能な静養室が整備されています。子を同伴しての打ち合わせや学会一時保育の場としても利用されています。

information

託児室に関するお問い合わせ
TEL 022-795-5678 eng_alice@grp.tohoku.ac.jp



工学系ベビーシッター利用料等補助

育児と研究や業務との両立のためにサポートを必要としている工学系教職員に、ベビーシッターや一時託児の利用料の補助の支援を行います。本支援は男女問わず、学生も利用可能です。詳細はWebサイトでご確認ください。

information

ベビーシッター利用料等補助の申請
https://alice.eng.tohoku.ac.jp/ompatibility



研究支援要員派遣

育児・介護、社会貢献などのために研究時間の確保が困難な研究者に対し、研究支援要員(事務補佐員)を派遣します。社会貢献のための支援は女性研究者のみが対象ですが、育児・介護の場合は男女問わず支援が利用可能対象です。お困りの際はご相談ください。詳細はWebサイトでご確認ください。

利用者の声

「ついつい後回しになってしまう事務仕事をきばきと片付けて頂き大変助かっています。気持ちにも余裕ができて、家のことにも頭が回せるようになりました。」

工学分野における女性リーダーの育成



STEP-ALICEプログラム

工学系女性教員と女子学生に対して、学会参加や共同研究打合せ等に関わる出張経費、論文投稿費・英文校閲費の一部を補助しています。支援額の上限は、海外旅費20万円、国内旅費8万円。申請書類はHPよりダウンロード可能です。

利用者の声

- ◆ 「次世代の皆さんにも、情熱と創造性を持って、自分の研究を海外へ発信してほしいです。様々な国や分野の研究者と協力して、より革新的なアプローチや技術の開発を目指してください。そして創生されたテクノロジーは、社会課題を解決して人間を豊かにすると信じています。」
- ◆ 「国際学会へ参加して、異文化理解や目指す研究者像という観点からも非常に刺激を受けました。社交性や包容力は、幅広い人脈を構築する上で重要な能力であり、今後学際的・国際的に研究を展開するために身につけていきたいと思います。」



セミナー・交流会

工学系に所属する女性研究者と女子学生を対象に、スキルアップ・キャリア育成を目的としたセミナーや交流会を開催しています。

参加者の声

- ◆ 「女性エンジニアの方との座談会を通して、工学系の業界で働くことをより具体的にイメージ出来るようになりました。また同じ工学部の同期、先輩後輩とも色々な話が出て、楽しい時間を過ごせました。」
- ◆ 「このイベントに参加することで、同じ悩みを抱えている工学部女子がたくさんいることを知り、自分一人だけではないんだと感じて心強かったです。」

工学研究科DEI推進プロジェクトや「UPWARDS for the Future」との協働



工学研究科DEI推進プロジェクトとともに、DEI推進のための環境づくりに取り組んでいます。東北大学は「半導体の人材育成と研究開発に関する未来に向けた日米大学間パートナーシップ」(UPWARDS for the Future)のメンバーであり、ALiCEの活動をサポートしていただいております。

工学研究科DEI推進プロジェクト

https://dei.eng.tohoku.ac.jp/



情報共有による問題解決

情報提供・情報共有

工学系女子学生・女性研究者のためのメールリストを運用しています。

メール配信のお問い合わせ
eng_alice@grp.tohoku.ac.jp

- ✓ 研究費や海外渡航旅費の公募情報
- ✓ 保育所やベビーシッターなどの情報
- ✓ 学内外のイベント・シンポジウムの情報
- ✓ 各種支援制度について詳しい説明

おはなし窓口

DEIに関する相談や問い合わせを受け付けています。

おはなし窓口(ALiCE)
TEL 022-795-5678
eng_alice@grp.tohoku.ac.jp

その他の相談窓口

- 1 学生支援室
- 2 カウンセリングルーム
- 3 ハラスメント相談窓口
- 4 DEI相談窓口

Q&A

工学はどんな学問ですか？

工学は生活や社会をより良くするための学問で、科学技術のちからで新しいものを作り、課題解決に取り組みます。社会に役立つものづくりを行うため、社会のお医者さんとも言われます。

実験が夜までかかる場合は？

青葉山キャンパス内には仙台市地下鉄「青葉山駅」があり、便利です。さらに、工学部同窓会の女子学生支援があり、深夜帰宅時にタクシー利用もできます。

研究と家庭、どちらも両立できますか？

研究と育児の両立を目的としたベビーシッター利用料等補助や、研究支援要員派遣といった支援を行っています。また、学会等でも一時託児に利用可能なスペースもあります。

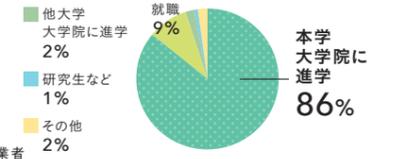
数字で見る工学系女子学生

工学系在籍の女子学生比率



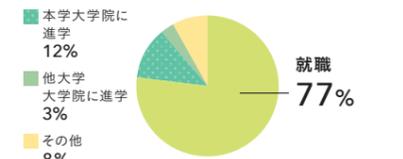
※2024年5月時点

工学部卒業後の進路(女子)



※2024年3月卒業生

工学研究科修士課程修了後の進路(女子)



※2024年3月修了者

